

リウマチと上手に  
つきあうために  
トラブル時の対応



風邪?



帯状疱疹?



お薬の対応は?

監修：前島 圭佑 先生

医療法人慈恵会西田病院 リウマチ・膠原病内科 部長

## はじめに

関節リウマチを発症すると関節に痛みや腫れが生じ、  
生活の質が著しく低下してしまいます。

かつては治療法が確立されていなかったために  
病状が進行することも多かったのですが、  
新しい薬の登場により治療が進歩し、  
寛解（病状が完全にコントロールされた状態）を目指すことが  
可能になっています。

しかし、そのためには患者さんご自身による心がけも欠かせません。  
病気や薬のことを深く理解する必要はありませんが、  
「病気とのつきあい方」については  
最低限の知識を身に付けておくことが望まれます。

本シリーズ「リウマチと上手につきあうために」では、  
まさにその具体的な方法の一端として、  
日常生活での注意点や、  
外来受診時の病状の伝え方などをご紹介します。

皆様の生活の質の改善に向けて、  
本冊子が少しでもお役に立てたら幸いです。



# トラブル時の対応

## 清水菊江さんのプロフィール

64歳。専業主婦。  
7年前にリウマチを発症。  
現在は抗リウマチ薬で治療中。



7年前に関節リウマチと診断されました。











リウマチや  
感染症の病状に加え、  
お薬の内容や  
これまでの治療経過も  
鑑みて、どうすべきかを  
判断することになります



「いつもの風邪に比べて  
明らかにひどい」  
「咳や痰が長く続く」  
「息苦しい」などの場合は  
すぐに受診して  
いただきたい  
のですが、  
それ以外の  
場合でも  
不安な場合は  
遠慮なくご相談に  
いらしてください



今の清水さんのリウマチと  
帯状疱疹の状態から、  
この後どう治療するかを  
一緒に考えてみましょう

はい！  
お願いします



一方で「くしゃみ、鼻汁、鼻つまり、  
のどの痛み」といった上気道炎の  
症状を伴っている場合は

ひとまず近くの  
かかりつけ医への受診で  
良いかもしれません



帯状疱疹、  
おさまって良かったね。  
これからもリウマチ治療、  
頑張らないとね

そうね。  
まだまだ頑張るわ!!



感染症にかかった場合、  
リウマチのお薬は  
どうすればよいですか？



関節リウマチの治療は  
長期にわたります。  
そのため感染症の  
早期発見・早期治療  
そして予防は  
とても大切

ストレスを  
ためず、  
体調の変化には  
注意を払って、  
気になることが  
あればすぐにご相談を



リウマチのお薬については、  
そのまま続ける場合と、  
一旦お休みする場合があります



医療機関名